

亞東然丁時報

ウイルキー、大法螺を吹く

困惑の米政府首脳責任回避

眞意解せぬ重慶側不満表明

【ストックホルム七日同盟】華府電によればウイルキーが大法螺を吹きまくつて聯合國の抗戦を煽りたることに對し米國政府首脳は甚だしく困惑してゐる模様で、彼の勝手な言説に對しては何等責任を執らぬとの態度を持してゐる、ルーズベルトも六日の記者團會見で第二戰線に關するウイルキーの聲明について質問されたに對し「新聞の見出しを見ただけで内容は讀まなかつた」と噛んで捨てるやうに答へた、また民主黨のランキン議員の如きは「ウイルキーの氣狂ひ地味た言辭はされば聯合國の邪魔になつてゐるかわからぬ」と痛烈に批評下してゐる。

聯合國の抗戦を煽る

ウイルキーの言辞無責任

【リスボン七日同盟】重慶滬米國政府はよろしく大西洋にも適するとの華府電報は重慶側に大きな衝動を與へておき、七日の夜の重慶では「ウイルキーは正式に米政府の意志を帶びてゐないかも知れぬが出發前に充分政府側と協議したはずである、それにもかゝわらず現在の微妙な國際情勢下において米大統領が斯る言明を行つたことは甚だ不可解である」と不満を表はしてゐる。

大東亜省案の審議

樞院審査近く終了

東地中海方面を樞軸軍制壓

聯合國の海上連絡不能

午餐を賜る

電波で結ぶ座談會

南方と東京を

英側捕虜虐待、獨軍報復

大勢は頗る氣乗り薄

同部中將

新陸大校長

英側捕虜虐待、獨軍報復

大勢は頗る氣乗り薄

同部中將</

